

授業科目	学科総合学習Ⅰ〔KC〕		担当教員	古瀬 友理		
対象年次・学期	1年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	15回	時間数	30時間
授業目的	自分自身を理解した上で、自己の生き方・働き方について考え、設計・再設計をする。学んでいるスキルをどう生かすかを考え、卒業後の進路を確定する。					
到達目標						
テキスト・参考図書等						
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験					
	レポート					
	小テスト					
	提出物					
	その他	100				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	2	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	3	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	4	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	5	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	6	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	7	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	8	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	9	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する			
	10	授業・イベント・就職	定例授業内では補えない事項を実施する			

		等に合わせた取り組みを実施	
	11	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する
	12	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する
	13	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する
	14	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する
	15	授業・イベント・就職等に合わせた取り組みを実施	定例授業内では補えない事項を実施する

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	英会話Ⅰ〔KC〕		担当教員	Alexander Williams		
対象年次・学期	1年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	日常的な場面においてのコミュニケーションが取れるレベルの会話力を習得する。場面にあった英文の作成スキルや発音を練習する。					
到達目標	簡単な英会話ができるようになる。					
テキスト・参考図書等	Four Corners 2 Second Edition Full Contact					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	28				
	レポート	18				
	小テスト	18				
	提出物	0				
	その他	36				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	U1A-B - Interests, Contact information	Interests, Be-verb, Asking for contact information			
	2	U1C-D - Sports and exercise, U1 writing	Simple present, free time, Writing(interest)			
	3	U2A-B - Personality, Guessing an answer	Personality adjectives, what… like?, thinking something is true			
	4	U2C - Appearance, U2 writing	Appearance adjectives, adjective order, Writing(about me)			
	5	U1-2 Review, U1-2 Quiz	Review and quiz			
	6	U3A-B - Weather, Opinion	Intensity adverbs, talking about opinions			
	7	U3C - Would like to…, U3 writing	Indoor activities, Would like + infinitive, Writing (an email)			
	8	U4A-B - At home, Making requests	There is/are, indoor rooms, requests			
	9	U4C - Household chores, U4 Writing	Chores, phrasal verbs, Writing (Dream home)			
	10	U3-4 Review, U3-4 Quiz	Review and quiz			
	11	U5A-B - Body, instructions	Parts of the body, imperatives, health problems			
	12	U5C - Healthy habits, U5 writing	Healthy habits, How-questions, Writing (managing stress)			
	13	U6A-B - TV Shows	TV shows, Verb + infinitive/gerund, agree/disagree			
	14	U6C - Television, U6 writing	TV words, Present continuous for future, Writing (Favorite TV show)			
	15	U5-6 Review, U5-6 Quiz	Review and quiz			

	16	U7A-B - Opposites, Comparing, Bargaining	Adjectives, Comparatives, Bargaining
	17	U7C - Clothing, U7 Writing	Clothing adjectives, Too/enough, Writing (Interesting market)
	18	U8A-B - Places, Recommendations	Places, Should/can, Recommendations
	19	U8C - Describing Cities, U8 Writing	Superlatives, City adjectives, Writing (A message board)
	20	U7-8 Review, U7-8 Quiz	Review and quiz
	21	U9A-B - Careers	Careers, was/were born, Certainty/Uncertainty
	22	U9C - People adjectives, U9 Writing	Personality adjectives, Simple past with ago, Writing (biography)
	23	U10A-B - Restaurants	Menu items, Articles, Ordering/checking
	24	U10C - Experiences, U10 writing	Food, Present perfect, Writing (Restaurant)
	25	U9-10 Review, U9-10 Quiz	Review and quiz
	26	U11A-B - Movies, Entertainment	Types of movies, Too/Neither, Suggestions
	27	U11C-D - Music	Types of music, Determiners, Writing (Favorite singer)
	28	U12A-B - Personal goals	Infinitives for purpose, Reacting to good/bad news
	29	U12C - Future, U12 writing	Milestones, will, may/might, Writing (my dream)
	30	U11-12 Review, U11-12 Quiz	Review and quiz

授業科目	英会話Ⅰ〔KC〕	担当 教員	Alexander Williams	
		実務 経験	有：□ 無：■	
対象年次・学期	1年・通年	担当 教員		
授業形態		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		

担当 教員 実務 経験		
--------------------------	--	--

授業科目	英語試験対策講習 I TOEIC 〔KC〕		担当教員	Long Prime 株式会社	
対象年次・学期	1 年・通年		必修・選択区分	選択	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	TOEIC 受験対策				
到達目標	TOEIC 600 点獲得				
テキスト・参考図書等	ELSTS アプリ				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験		小テスト：毎クラスごとの単語テスト、問題演習、 TOEIC IP テストの得点 提出物：毎回の宿題 その他：授業態度、発言など		
	レポート				
	小テスト	40			
	提出物	30			
	その他	30			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	初回オリエンテーション	TOEIC L&R の概要や社会でのスコア活用状況、 Bridge の簡単な説明、英語の重要性、全国のスコ アデータについて		
	2	TOEIC 演習対策①	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	3	TOEIC 演習対策②	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	4	TOEIC 演習対策③	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	5	TOEIC 演習対策④	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	6	TOEIC 演習問題⑤	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	7	TOEIC 演習対策⑥	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	8	TOEIC 演習対策⑦	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	9	TOEIC 演習対策⑧	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	10	TOEIC 演習対策⑨	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	11	TOEIC 演習対策⑩	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	12	TOEIC 演習対策⑪	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	13	TOEIC 演習対策⑫	単語小テスト、演習問題解説、スピーキング練習		
	14	TOEIC L&R IP テスト 受験	検定実施		
	15	振り返り	単語小テスト、テスト解説		

授業科目	英語試験対策講習ⅠTOEIC〔KC〕	担当教員 実務経験	岡村 行紀 有：□ 無： ■	
対象年次・学期	1 年・通年	担当教員		
授業形態		実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	短期韓国留学〔KC〕		担当教員	古瀬 友理	
対象年次・学期	1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30 回	時間数 60 時間
授業目的	韓国の語学系教育機関に短期留学を行い、韓国語のスキルアップを行うと同時に、韓国の文化や社会などを直に体験することで、学びのモチベーションとする。				
到達目標	韓国語のスキルアップと韓国の文化や社会を積極的に体験する。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験		韓国短期留学プログラムに参加し、課題の提出を持って単位認定とする。		
	レポート				
	小テスト				
	提出物	30			
	その他	70			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	短期留学プログラム事前準備①	短期留学プログラム事前説明		
	2	短期留学プログラム事前準備②	短期留学プログラム事前学習①		
	3	短期留学プログラム事前準備③	短期留学プログラム事前学習②		
	4	短期留学プログラム参加			
	5	短期留学プログラム参加			
	6	短期留学プログラム参加			
	7	短期留学プログラム参加			
	8	短期留学プログラム参加			
	9	短期留学プログラム参加			
	10	短期留学プログラム参加			
	11	短期留学プログラム参加			
	12	短期留学プログラム参加			
	13	短期留学プログラム参加			
	14	短期留学プログラム参加			

	15	短期留学プログラム参加	
	16	短期留学プログラム参加	
	17	短期留学プログラム参加	
	18	短期留学プログラム参加	
	19	短期留学プログラム参加	
	20	短期留学プログラム参加	
	21	短期留学プログラム参加	
	22	短期留学プログラム参加	
	23	短期留学プログラム参加	
	24	短期留学プログラム参加	
	25	短期留学プログラム参加	
	26	短期留学プログラム参加	
	27	短期留学プログラム参加	
	28	短期留学プログラム参加	
	29	短期留学プログラムまとめ	留学プログラム反省・振り返り
	30	短期留学プログラムまとめ	留学プログラム発表会

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	韓国 POP カルチャー 〔KC〕		担当教員	朝日 紀行	
対象年次・学期	1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数
授業目的	ダンス・エンターテインメント・美容など、日本をはじめ世界的にブームとなっている韓国の POP カルチャーに触れ、韓国社会についてより深く理解する。				
到達目標	韓国社会についてより深く理解する。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験		レポート：最終課題のレポートの提出 提出物：課題の提出状況 その他：授業への出席、15 回目のまとめ報告会の発表内容・参加態度 以上の 3 つの項目の結果をもって総合的に評価する。		
	レポート	30			
	小テスト				
	提出物	10			
	その他	60			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	映像（ドラマ・映画）	韓国ドラマや映画などのエンターテインメント産業について学ぶ		
	2	K-POP ミュージック	韓国の音楽業界について学ぶ		
	3	K-POP ダンス①	K-POP ダンスについて、体験を通し学ぶ		
	4	K-グラフィック・デザイン・アート①	K-グラフィックとよばれる韓国流アートについて学ぶ		
	5	K-グラフィック・デザイン・アート②	K-グラフィックとよばれる韓国流アートについて学ぶ		
	6	フードカルチャー①	韓国グルメの流行を知り、食のトレンドを学ぶ（調理実習）		
	7	フードカルチャー②	韓国グルメの流行を知り、食のトレンドを学ぶ（調理実習）		
	8	美容・コスメ①	韓国美容やコスメについて学ぶ		
	9	K-POP ダンス②	K-POP ダンスについて、体験を通して学ぶ		
	10	美容・コスメ②	韓国美容やコスメについて学ぶ		
	11	K-グラフィック・デザイン・アート③	K-グラフィックとよばれる韓国流アートについて学ぶ		
	12	K-POP ダンス③	K-POP ダンスについて、体験を通し学ぶ		
	13	フードカルチャー③	韓国グルメの流行を知り、食のトレンドを学ぶ（調理実習）		
	14	フードカルチャー④	韓国グルメの流行を知り、食のトレンドを学ぶ（調理実習）		
	15	まとめ 報告会	韓国の POP カルチャーについて各自取り組みを行い報告会を行う		

授業科目	韓国 POP カルチャー (KC)	担当 教員	秋山 智惟	
		実務 経験	有： ☐ 無： ■	
対象年次・学 期	1 年・前期	担当 教員	三好 真理子	
授業形態		実務 経験	有： ☐ 無： ■	
		担当 教員	小松 信隆	
		実務 経験	有： ☐ 無： ■	
		担当 教員	朝日 紀行	
		実務 経験	有： ☐ 無： ■	
		担当 教員	宮本 絵里香	
		実務 経験	有： ☐ 無： ■	
		担当 教員	佐々木 綾香	
		実務 経験	有： ☐ 無： ■	
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		
		担当 教員		
		実務 経験		

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	ビジネスマナーⅠ〔KC〕	担当教員	奥田 真弓		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	就職を見据えて日本社会で働く上で必要な一般常識とマナーを理解する。また、グローバルな視点での良好なコミュニケーションを図れる能力を学ぶ。				
到達目標	社会人としてのマナーの基礎を身に付ける。				
テキスト・参考図書等	「マナー＆プロトコルの基礎知識」＆「マナー・プロトコル検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコル協会				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60			
	レポート				
	小テスト	30			
	提出物				
	その他	10			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション			
	2	第1章 マナー概要	マナーとは、学ぶ意義とは		
	3	第1章 マナー概要	歴史と意味		
	4	第2章 プロトコル	意味と意義		
	5	第2章 プロトコル	国際人としての立ち居振る舞い		
	6	第3章 社会人としてのマナー	コミュニケーション能力		
	7	第3章 社会人としてのマナー	礼服、贈答、手紙		
	8	第1, 2, 3章 まとめ	まとめ 小テスト		
	9	第4章 ビジネスマナー	必要性和心構え		
	10	第4章 ビジネスマナー	名刺、電話、来客		
	11	第4章 ビジネスマナー	トラブル対応、ビジネス文章		
	12	第5章 食事のマナー	食事作法、和食		
	13	第5章 食事のマナー	西洋料理、中華料理①		
	14	第4, 5章 まとめ	まとめ 小テスト		
	15	前期確認	確認テスト		
	16	第5章 食事のマナー	西洋料理、中華料理②		

	17	第 6 章 社交	お酒の種類、マナー
	18	第 7 章 「冠」	通過儀礼①
	19	第 7 章 「冠」	通過儀礼②
	20	第 8 章 「婚」	結婚式のマナーと変遷
	21	第 5, 6, 7, 8 章 まとめ	まとめ 小テスト
	22	第 9 章 「葬」	葬儀・告別式でのマナー①
	23	第 9 章 「葬」	葬儀・告別式でのマナー②
	24	第 10 章 「祭」	1 年の行事①
	25	第 10 章 「祭」	1 年の行事②
	26	第 9, 10 章 まとめ	まとめ 小テスト
	27	マナー・プロトコール 検定対策	模擬試験
	28	後期確認	確認テスト
	29	マナー・プロトコール 検定受験	検定実施
	30		総まとめ

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	英語Ⅰ〔KC〕	担当教員	斉藤 恵		
対象年次・学期	1 年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	30 回	時間数	60 時間
授業目的	英文がどのように組み立てられているかを理解し基礎を定着させる				
到達目標	中学英語の基本的な構造を説明できる				
テキスト・参考図書等	中学校 3 年間の英語が 1 冊でしっかりわかる本題集 アプリ教材 銀のフレーズ				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験		確認テスト（各ユニット毎）60%、提出物 20%、その他 20%（出席、意欲的な参加）を目安に総合的に評価します。 確認テストを当日に欠席した学生は、次の出席時に受験できますが、点数は 50% で計算します。		
	レポート				
	小テスト	60			
	提出物	20			
	その他	20			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション			
	2	be 動詞	文法解説 確認テスト		
	3	一般動詞	文法解説 確認テスト		
	4	疑問詞	文法解説 確認テスト		
	5	3 人称単数現在形	文法解説 確認テスト		
	6	助動詞の can	文法解説 確認テスト		
	7	現在進行形	文法解説 確認テスト		
	8	一般動詞の過去形	文法解説 確認テスト		
	9	Be 動詞の過去形	文法解説 確認テスト		
	10	未来を表す表現	文法解説 確認テスト		
	11	助動詞の must や may	文法解説 確認テスト		
	12	比較	文法解説		
	13	比較	文法解説 確認テスト		
	14	to 不定詞	文法解説		
	15	to 不定詞	文法解説 確認テスト		
	16	過去進行形	文法解説 確認テスト		
	17	受動態	文法解説		
	18	受動態	文法解説 確認テスト		

	19	現在完了形	文法解説
	20	現在完了形	文法解説 確認テスト
	21	後置修飾	文法解説
	22	後置修飾	文法解説 確認テスト
	23	関係代名詞	文法解説
	24	関係代名詞	文法解説 確認テスト
	25	原形不定詞	文法解説
	26	原形不定詞	文法解説 確認テスト
	27	仮定法	文法解説
	28	仮定法	文法解説 確認テスト
	29	文型	文法解説
	30	文型	文法解説 確認テスト

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	情報基礎スキルⅠ (Excel)〔KC〕		担当教員	大花 学	
対象年次・学期	1 年・後期		必修・選択区分	選択	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数 30 時間
授業目的	Window's OS を使用した PC 操作を理解し、アプリケーションウェア Excel の基本的な操作を身に付ける。算術演算子の使用や、目的にあった適切なグラフの作成技法を習得する。また、検定試験問題演習により検定試験合格の力をつける。				
到達目標	MOS Excel365 を受験するために必要な Excel の機能を理解するとともに検定試験を受験して合格を目指す。				
テキスト・参考図書等	『15 時間でマスター MOS Excel 365 テキスト & 対策演習』（実教出版）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験		提出物はテキストの要件に合わせて作られていること。 その他の評価は出席など授業態度を評価する。		
	レポート				
	小テスト				
	提出物	50			
	その他	50			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	表の作成	データ入力など		
	2	表の編集	複数シートのグループ化など		
	3	関数①－カウント・条件処理	連続データの入力など		
	4	関数②－文字列の処理	文字列の一部を取り出すなど		
	5	関数③－文字列の処理	大文字小文字の変換など		
	6	関数④－データの生成・加工	関数を使ったデータの生成など		
	7	グラフの管理	グラフの作成など		
	8	テーブルの利用	テーブルの作成など		
	9	ブック内の移動と表示のカスタマイズ	名前付き範囲の活用など		
	10	共同作業のための設定	表示モードの切り替えなど		
	11	問題演習 1	演習 0 1, 0 2		
	12	問題演習 2	演習 0 2, 0 3		
	13	問題演習 3	演習 0 4, 0 5		
	14	問題演習 4	演習 0 6, 0 7		
	15	問題演習 5	演習 0 8, 0 9		

授業科目	情報基礎スキルⅠ (Excel)〔KC〕	担当教員 実務経験	大花 学 有：□ 無： ■	
対象年次・学期	1 年・後期	担当教員		
授業形態		実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		
		担当教員 実務経験		

担当 教員 実務 経験		
--------------------------	--	--

授業科目	現代韓国事情〔KC〕	担当教員	高野 康夫		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	15回	時間数	30時間
授業目的	日本の隣国であり、毎年のように訪日外国人客数の上位を占める大韓民国の地理・文化・歴史、訪日韓国人観光客の特徴を学び、異文化を理解する心と国際感覚を育み、社会に必要とされるグローバル人材・インバウンド人材を目指せるようになる。				
到達目標	大韓民国の地理、文化、歴史、訪日韓国人観光客の特徴を理解すること。				
テキスト・参考図書等	『現代韓国の超基本』 毎日新聞出版 『「韓流」と「日流」文化から読み解く日韓新時代』 NHK 出版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験	40	(A)試験 学習内容に関する試験を行います。小テストの内容を踏まえた内容になります。		
	レポート		(B)小テスト 学習内容に関する理解度テストを行います。タイミングは授業内で指示します。		
	小テスト	30	(C)その他 授業態度、授業への積極的な参加、遅刻・欠席状況、私語、		
	提出物		許可のない携帯電話・PC等の使用、忘れ物などで総合的に毎時間評価します。		
	その他	30	評点 100 点満点 = (A x 0.4) + (B の平均 x 0.3) + (C の平均 x 0.3) ※小数点以下四捨五入		
履修上の留意事項	評価の60％は授業内で評価され、授業の内容も今後の韓国語学習や韓国人との関わり合いにおいても必要な内容であるので、好奇心を持ち、積極的な姿勢で講義を受講されることを望みます。隔週授業になるので、各自で必ず予習・復習、さらには自分で調べ学習などをして、授業に向かうよい習慣をつけましょう！				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション／韓国に関する理解度チェック	授業内容・評価方法の確認、韓国についての○×クイズ形式で理解度を確認		
	2	都市・地域／交通／文化（地方都市）／気候・風土	韓国の都市・地域、北海道と韓国との関わり、気候・風土		
	3	都市・地域／交通／文化（地方都市）／気候・風土	韓国の都市・地域、北海道と韓国との関わり、気候・風土		
	4	北海道と韓国の関わり	映画『Love Letter』について考える		
	5	文化／祝日／旬の食材について	食文化、伝統衣装、入浴文化、祝日、韓国食材についての調べ学習		
	6	文化／祝日／旬の食材について	食文化、伝統衣装、入浴文化、祝日、韓国食材についての調べ学習		
	7	教育／兵役／結婚／少子化	学校制度と大学受験、男性の義務、晩婚化・非婚化、少子高齢化、ジェンダー		
	8	教育／兵役／結婚／少子化	学校制度と大学受験、男性の義務、晩婚化・非婚化、少子高齢化、ジェンダー		
9	経済／日常生活／宗教	財閥、デジタル化、信仰、主要産業、外食産業、			

		／産業／伝統芸術／スポーツ／医療	伝統芸術、スポーツ
	10	経済／日常生活／宗教／産業／伝統芸術／スポーツ／医療	財閥、デジタル化、信仰、主要産業、外食産業、伝統芸術、スポーツ
	11	現代韓国カルチャー（韓流と日流）／演劇／文学／芸術	韓流と日流、日本文化開放政策、日韓演劇交流、K-BOOK、ウェブトゥーン
	12	韓国通史／古朝鮮／三国時代／統一新羅／高麗	檀君神話、高句麗・百済・新羅、百済と日本との交流、統一新羅、高麗
	13	朝鮮王朝／大韓帝国	両班制、秀吉の朝鮮出兵、朝鮮通信使、朝鮮末期と植民地支配
	14	韓国現代史	植民地支配からの解放と南北分断、独裁政権、民主化運動、国際社会デビュー
	15	学習のふりかえり	15回の学習をふりかえる

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	韓国語コミュニケーションⅡ〔KC〕		担当教員	申 相勲	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数
授業目的	初級で習得した基本文法・語彙を基盤に、日常生活や学術・職場で使える韓国語コミュニケーション能力を中級レベルで養うことを目的とする。				
到達目標	韓国語の中級文法や語彙を用いて、より実践的な会話のスキルを習得できる。				
テキスト・参考図書等	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級 改訂版』 国書刊行会出版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験		毎回復習小テストがあります。次回の授業に向けて復習をしっかりと行ってください。		
	レポート				
	小テスト	30			
	提出物				
	その他	70			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	Chapter1 日常会話	マナー		
	2	Chapter2 日常会話	計画		
	3	Chapter3 日常会話	家族①		
	4	Chapter4 日常会話	家族②		
	5	Chapter5 日常会話	気分・感情		
	6	Chapter6 日常会話	外見		
	7	Chapter7 日常会話	性格		
	8	Chapter8 日常会話	ショッピング		
	9	Chapter9 日常会話	文化の違い		
	10	Chapter10 日常会話	銀行・郵便局		
	11	Chapter11 日常会話	予約		
	12	Chapter12 日常会話	家		
	13	Chapter13 日常会話	韓国生活①		
	14	Chapter14 日常会話	韓国生活②		
	15	中間まとめ			
	16	Chapter15 日常会話	祭り		
	17	Chapter16 日常会話	失敗		
	18	Chapter17 日常会話	留学生活		

	19	Chapter18 日常会話	ニュース
	20	Chapter19 日常会話	季節
	21	Chapter20 日常会話	旅行
	22	Chapter21 日常会話	悩み
	23	Chapter22 日常会話	出会い
	24	Chapter23 日常会話	料理①
	25	Chapter24 日常会話	料理②
	26	Chapter25 日常会話	推し
	27	Chapter26 日常会話	風習
	28	Chapter27 日常会話	ペット
	29	まとめ	
	30	まとめ	

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	韓国語読解Ⅰ〔KC〕		担当教員	高野 康夫	
対象年次・学期	1年・通年		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数
				60時間	
授業目的	基礎・基本的な単語、文法項目、表現を学びながら文章を読み解く力を養うことを目的とする。				
到達目標	TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰの読解問題を攻略し、TOPIKⅠ以上に合格することを目指す。				
テキスト・参考図書等	『新合格できる韓国語能力試験 TOPIKⅠ』 アスク 出版 『できる韓国語 文型トレーニング』 アスク 出版 『多読多聴の韓国語』シリーズ HANA 出版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験	40	(A)定期試験		
	レポート		(B)小テスト		
	小テスト	30	単語や読解能力の確認のために、授業内で実施します。		
	提出物		小テストを欠席した場合、原則として0点で処理します。		
	その他	30	ただし、特別な欠席（公欠、忌引、自動車免許試験その他 『学則施行細則』第3章第9条記載の欠席）による場合は、 下記(C)や前後の小テストの点数による「見込点」で処理します。 (C)その他 授業態度、授業への積極的な参加、遅刻・欠席状況、私語、 許可のない携帯電話・PC等の使用、忘れ物など総合的に毎時間評価します。 評点 100点満点 = (A×0.4) + (Bの平均 × 0.3) + (Cの平均 × 0.3) ※小数点以下四捨五入		
履修上の留意事項	評価の60％は毎回の授業で評価されますので、好奇心を持ち、積極的な姿勢で授業に参加し、語い・文法は各自で必ず予習するなど、授業に向かうよい習慣をつけましょう！また、他の授業で学んだ内容も大いに活かされると思います。この授業だけでなく、他の授業もしっかりと受講してください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション／ハングル理解度チェック	講義内容・評価方法の確認 ハングル理解度チェックのためテキスト別冊「初級重要語彙」を発話する		
	2	ハングル理解度チェック	ハングル理解度チェックのためテキスト別冊「初級重要語彙」を発話する		
	3	単語小テスト／第1部重要文型の確認	文末表現①②		
	4	単語小テスト／第1部重要文型の確認	文末表現③④		
	5	単語小テスト／第1部重要文型の確認	文型表現⑤⑥		
	6	単語小テスト／第1部重要文型の確認	文型表現⑦ 接続表現①		

	7	文型表現小テスト／第1部 重要文型の確認	接続表現②③
	8	単語小テスト／第1部 重要文型の確認	間違いやすい文型
	9	単語小テスト／第1部 重要文型の確認	敬語
	10	接続表現小テスト／第2部 用言の不規則活用	用言の不規則活用
	11	単語小テスト／第2部 連体形	連体形
	12	単語小テスト／第3部 数詞・助数詞／助詞	数詞・助数詞／助詞
	13	単語小テスト／読解問題に取り組む前に・・・	韓国の昔話を読んでもみる
	14	単語小テスト／読解問題に取り組む前に・・・	韓国の偉人伝を読んでもみる
	15	単語小テスト／第3部 読解問題対策	類型Ⅰ トピックを探す／類型Ⅱ 文章の完成
	16	単語小テスト／第3部 読解問題対策	類型Ⅲ 内容の不一致／類型Ⅳ 内容との一致
	17	単語小テスト／第3部 読解問題対策	類型Ⅴ 中心となる考え
	18	単語小テスト／第3部 読解問題対策	類型Ⅵ 正しい順番に並べる
	19	単語小テスト／第3部 読解問題対策	類型Ⅶ 2問に答える①／類型Ⅷ 2問に答える②
	20	単語小テスト／第3部 読解問題対策	類型Ⅸ 2問に答える③
	21	単語小テスト／第3部 読解問題対策	実践練習
	22	単語小テスト／第3部 読解問題対策	実践練習
	23	単語小テスト／第3部 読解問題対策	実践練習
	24	単語小テスト／過去問題にチャレンジ	過去問題に取り組む
	25	単語小テスト／過去問題にチャレンジ	過去問題に取り組む
	26	単語小テスト／過去問題にチャレンジ	過去問題に取り組む
	27	単語小テスト／過去問題にチャレンジ	過去問題に取り組む
	28	単語小テスト／過去問題にチャレンジ	過去問題に取り組む
	29	単語小テスト／さらに上を目指す	インターネット新聞の記事を読んでもみる
	30	単語小テスト／さらに上を目指す	インターネット新聞の記事を読んでもみる

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	韓国語文法・語彙Ⅱ 〔KC〕		担当教員	伊藤 舞香	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数
				60時間	
授業目的	様々な語尾の活用及び表現・語彙などを習得し、なおかつ幅広い内容の文法および生きた、使えるような会話ができるようにするための文法・語彙を覚えてもらう。				
到達目標	韓国語の基礎を固め、資格試験や会話に応用できる。				
テキスト・参考図書等	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級 改訂版』 国書刊行会出版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験	50	授業への参加態度、小テスト及び課題など（40%）、期末試験（50%）をもって評価します。		
	レポート				
	小テスト	30			
	提出物	10			
	その他	10			
履修上の留意事項	・語彙及び表現確認については各自事前に学習しておくこと。 ・品詞（名詞、動詞、形容詞、助詞、副詞など）の文法用語について確認しておくこと。 ・テキストの学習予定の箇所を事前に読んで、新しい文法事項を確認すること。 ・授業中に学んだ文字と文法、発音を確認、暗記すること。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション			
	2	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第1課 遅れて申し訳ございません		
	3	文法・語彙	変則活用①		
	4	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第2課 この背が高い人がご主人ですか		
	5	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第3課 付き合っている人もいませんでした		
	6	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第4課 通いながら勉強したんだけど		
	7	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第5課 予約する予定です祭り		
	8	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第6課 大会に出たこともあるんですよ		
	9	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第7課 韓国が勝ちそうなんですよ		
	10	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第8課 買おうとしたんだけど		
	11	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第9課 雨が降り始めますね		
	12	文法・語彙	天気予報になってみよう！		
	13	実習	天気予報になってみよう！		
	14	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第10課		

			食事しに行きませんか
15	小テスト		小テスト
16	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第11課 夢が壊れなければいいですね
17	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第12課 高校の時に修学旅行で来ました
18	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第13課 開かれるそうですよ
19	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第14課 肌がきれいになりましたね
20	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第15課 建てられて以来どのくらいたちましたか
21	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第16課 疲れているようですね
22	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第17課 同じ年かもしれません
23	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第18課 タレでも作っておいて
24	文法・語彙		韓国語でクッキング！
25	実習		韓国語でクッキング！
26	文法・語彙		『基礎から学ぶ韓国語講座 中級』第20課 招待状を送るつもりだから
27	文法・語彙		変則活用②
28	まとめ		
29	まとめ		
30	まとめ		

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	英語Ⅱ〔KC〕		担当教員	斉藤 恵	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数
授業目的	高校英語の語順と文の構造を学び、根拠をもって理解する。				
到達目標	高校英文を文法的に分析し、素早く把握できる。また、適切な英語で表現することができる。				
テキスト・参考図書等	基礎からのジャンプアップノート アプリ教材 銀のフレーズ				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験		確認テスト（各ユニット毎）60%、提出物 20%、 その他 20%（出席、意欲的な参加）を目安に総合的に評価 します。 確認テストを当日に欠席した学生は、次の出席時に受験 できますが、点数は 50%で計算 します。		
	レポート				
	小テスト	60			
	提出物	20			
	その他	20			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション 時制	解説		
	2	時制	確認テスト		
	3	助動詞	解説		
	4	助動詞	確認テスト		
	5	不定詞 動名詞	解説		
	6	不定詞 動名詞	解説		
	7	不定詞 動名詞	確認テスト		
	8	受動態 分詞	解説		
	9	受動態 分詞	解説		
	10	受動態 分詞	確認テスト		
	11	関係詞	解説		
	12	関係詞	解説		
	13	関係詞	確認テスト		
	14	比較	解説		
	15	比較	解説		
	16	比較	確認テスト		
	17	仮定法	解説		

	18	仮定法	解説
	19	仮定法	確認テスト
	20	さまざまな構文や表現	解説
	21	さまざまな構文や表現	解説
	22	さまざまな構文や表現	確認テスト
	23	接続詞 前置詞	解説
	24	接続詞 前置詞	解説
	25	接続詞 前置詞	確認テスト
	26	語法	解説
	27	語法	解説
	28	語法	解説
	29	語法	解説
	30	語法	確認テスト

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	異文化コミュニケーション〔KC〕		担当教員	岩佐 奈々子	
対象年次・学期	1 年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15 回	時間数
授業目的	言語の違い、文化の違いの枠を超え、多様性を理解するための知識と感性を身に付け、社会の現場において適切な判断と必要な行動が取れる能力を養う。				
到達目標	・ 自文化と自分自身のコミュニケーション・スタイルに気づくことで、異文化を持つ他者を理解し尊重することができる。 ・ 学習した異文化理解の知識を異文化がある場所で実際に使い、異文化を持つ他者と共同で活動や仕事を行うことができる。				
テキスト・参考図書等	異文化コミュニケーション キーワード〔新版〕有斐閣双書 吉田暁、石井敏、他、有斐閣				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験	40	①最終課題：レポート(2000 字程度)の提出。課題は、学習した異文化コミュニケーションに関するテーマについて下記、発表する。 ②レポート：授業の内容を踏まえて、自分の経験などに関連させた意見や感想を、A4(600 字程度)で 1 ページにまとめ、提出する。		
	レポート	30			
	小テスト		③提出物：小テストに代わる授業に関する提出物や宿題など。 ④その他：授業への出席、質問・発言等の授業への参加・貢献度。 ※成績評価；以上①～④の 4 つの項目の結果を合わせて総合的に評価する。		
	提出物	10			
その他	20				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション、文化とは	自己紹介、授業について		
	2	世界観・価値観について	文化・異文化について、価値観の違い		
	3	文化の差異：多文化、文化と認識	多文化について、文化と認識、偏見・ステレオタイプ		
	4	文化の差異：倫理観	文化を形作る社会と倫理観、信仰・宗教		
	5	文化の差異：個人主義・集団主義	個人に関係する社会の形態、コミュニティ文化		
	6	コミュニケーションとは	コミュニケーションについて		
	7	ことばとコミュニケーション	言語・非言語コミュニケーション、自分のコミュニケーション・スタイル		
	8	異文化理解のためのコミュニケーション	合同授業について		
	9	異文化と人間関係：カルチャーショック	異文化接触とは、合同授業の準備①		
	10	異文化と人間関係：慣習・習慣	異文化の世界について、合同授業の準備②		
	11	異文化トレーニング A	合同授業：グローバルビジネス学科		
	12	異文化トレーニング B	合同授業：グローバルビジネス学科		

	13	異文化と社会関係：日本	日本の慣習、習慣
	14	異文化と社会関係；韓国	韓国の慣習、習慣、最終課題について
	15	最終課題の発表	個人発表

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	韓国語ヒアリングⅠ 〔KC〕		担当教員	申 相勲	
対象年次・学期	1 年・通年		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30 回	時間数
授業目的	基本的な日常会話につながるために、リスニングを通じて語彙と表現を正確に聞き取れるようになることを目的とする。				
到達目標	TOPIK（韓国語能力試験）の2 級以上のリスニング力の獲得を到達目標とする。				
テキスト・参考図書等	『できる韓国語初級リスニング』 DEKIRU 出版 『新・合格できる韓国語能力試験 TOPIKⅠ』 アスク出版				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験	50			
	レポート				
	小テスト	30			
	提出物	10			
	その他	10			
履修上の 留意事項	次回の授業範囲を予習し、語彙の意味等を理解しておくこと。テキストの本文と活動の音声ファイルを聞いて予習・復習をすること。				
履修主題・ 履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション・初リスニング 1 課	저는 일본 사람입니다.		
	2	初リスニング 2 課	그건 뭐예요?		
	3	初リスニング 3 課	도서관은 어디에 있어요?		
	4	初リスニング 4 課	토요일에는 친구를 만납니다.		
	5	初リスニング 5 課	사과 한 개에 얼마예요?		
	6	初リスニング 6 課	보통 몇 시에 일어나요?		
	7	TOPIKⅠ 類型 1	물음에 맞는 대답		
	8	初リスニング 7 課	성함이 어떻게 되세요?		
	9	TOPIKⅠ 類型 2	이어지는 말		
	10	初リスニング 8 課	사고 싶지만 너무 비싸네요.		
	11	TOPIKⅠ 類型 3	여기는 어디?		
	12	初リスニング 9 課	하루에 몇 번 먹으면 돼요?		
	13	TOPIKⅠ 類型 4	무엇에 대한 대화		
	14	初リスニング 10 課	조금만 기다려 주세요.		
	15	TOPIKⅠ 類型 5	알맞은 그림 찾기		
	16	TOPIKⅠ 類型 実践練習	유형 1-5		
	17	初リスニング 11 課	제 취미는 운동하는 거예요.		

	18	TOPIK I 類型 6	대화 내용과 같은 것
	19	初リスニング 12 課	이 옷은 저한테 좀 큰데요.
	20	TOPIK I 類型 7	남자의 중심 생각
	21	初リスニング 13 課	차가운 것보다 따뜻한 게 좋아요.
	22	TOPIK I 類型 8	물음에 답(어떤 이야기, 내용과 같은 것 선택)
	23	TOPIK I 類型 實踐練習	유형 6-8
	24	初リスニング 14 課	알레르기 때문에 목이 부었어요.
	25	初リスニング 15 課	모두에게 선물할게요.
	26	初リスニング 16 課	맵지 않을 것 같은데요.
	27	初リスニング 17 課	여행을 간 지 5 년이나 됐어요.
	28	初リスニング 18 課	야경 사진 보여 드릴까요?
	29	初リスニング 19 課	이번 주부터 추워진다고 했어요.
	30	初リスニング 20 課	내일 일찍 오라고 했어요.

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	キャリアデザインⅠ 〔KC〕		担当教員	古瀬 友理	
対象年次・学期	1年・通年		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	15回	時間数 30時間
授業目的	自分自身を理解した上で、自己の生き方・働き方について考え、設計・再設計をする。学んでいるスキルをどう生かすかを考え、卒業後の進路を確定する。				
到達目標	授業の学びを通し、具体的なキャリアをイメージし、今後の課題を見出し、目的意識を持った「学校生活」を組み立てる。				
テキスト・参考図書等	『就活をひとつひとつわかりやすく』『社会人基礎力が身につくキャリアデザインブック（自己理解編）（社会理解編）』				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（％）	評価基準		
	試験		グループワーク、ディスカッションへの参加等を評価 課題の提出に加え、プレゼンテーションをその他評価対象とし総合評価する。		
	レポート				
	小テスト				
	提出物	60			
	その他	40			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	科目シラバスの説明 アンケートの実施 進路調査		
	2	学校生活を考える			
	3	自己理解①	自己開示について学ぶ		
	4	自己理解②	自己PRシートの作成を行う		
	5	社会人基礎力を身に付ける			
	6	就活スキル①	就活フローについて学ぶ		
	7	就活スキル②	応募書類の説明、作成①		
	8	特別講義	デザイン実習		
	9	就活スキル③	(就活用写真期間に向け)身だしなみ講座		
	10	就活スキル④	応募書類の作成②		
	11	就活スキル⑤	就職情報サイトの活用、企業研究		
	12	面接対策講座①	面接、グループディスカッション		
	13	面接対策講座②	実践練習		
	14	就職活動に向けて	求人票の見方、選考から内定確定まで		
	15	特別講義	デザイン実習		

授業科目	キャリアデザインⅠ 〔KC〕	担当 教員 実務 経験	古瀬 友理 有：□ 無： ■	
対象年次・学 期	1 年・通年	担当 教員		
授業形態		実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		
		担当 教員 実務 経験		

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	情報基礎スキルⅠ (Word)〔KC〕		担当教員	大花 学	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	選択	単位数
授業形態			授業回数	15回	時間数 30時間
授業目的	Window's OSを使用したPC操作を理解し、アプリケーションウェア Word を使って基本的な文書を作成できるスキルを身に付ける。検定試験受験のための準備をする。				
到達目標	MOS Word365を受験するために必要な Word の機能を理解するとともに問題演習を通して検定試験合格を目指す。				
テキスト・参考図書等	『15時間でマスター MOS Word365 テキスト＆対策演習（実教出版）』				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準		
	試験		提出物はテキストの要件に合わせて作られていること。 その他の評価は出席など授業態度を評価する。		
	レポート				
	小テスト				
	提出物	50			
	その他	50			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	文字、段落、表	文字や段落の書式設定など		
	2	表とリスト	スタイルの適用など		
	3	グラフィック要素	ワードアートの挿入など		
	4	ほかのデータの利用	Excel の票の貼り付けなど		
	5	文書の書式・レイアウト 1/2	ページ設定の変更など		
	6	文書の書式・レイアウト 2/2	その挿入と書式設定など		
	7	長文作成と参考資料 1/2	表紙の挿入など		
	8	長文作成と参考資料 2/2	資料文献の活用など		
	9	文書の校閲と共有 1/2	ユーザー名の確認など		
	10	文書の校閲と共有 2/2	変更履歴の閲覧など		
	11	問題演習 1	演習 0 1, 0 2		
	12	問題演習 2	演習 0 3, 0 4		
	13	問題演習 3	演習 0 5, 0 6		
	14	問題演習 4	演習 0 7, 0 8		
	15	問題演習 5	演習 0 9, 1 0		

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
--------------------------	--	--

授業科目	韓国語ライティングⅠ 〔KC〕		担当教員	申 相勲		
対象年次・学期	1 年・通年		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30 回	時間数	60 時間
授業目的	ハングル表記が正しくでき、日常的な事柄や自分の意見などを韓国語で作成できる能力を身につける。					
到達目標	基本文型を用いて短文を作成できる。 簡単なテーマについて自分の考えを文章で表現できる。TOPIK 3 級程度の作文が出来る。					
テキスト・参考図書等						
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準			
	試験	30	※課題遅延提出は減点対象とする。			
	レポート					
	小テスト	30				
	提出物	20				
	その他	20				
履修上の留意事項						
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション				
	2	挨拶	文字のバランス、分かち書き			
	3	基本文型と短文 1	～은/는 ~입니다 ~이/가 아니예요			
	4	基本文型と短文 2	～을/를, ~에, ~에서, ~도			
	5	基本文型と短文 3	있습니다, 없습니다. ~하고			
	6	基本文型と短文 4 自己紹介	자기 소개			
	7	基本文型と短文 5 週末	해요일			
	8	基本文型と短文 6 過去	~았/었어요			
	9	基本文型と短文 7	~고, ~지만			
	10	基本文型と短文 8	~고 싶어요, ~고 있어요			
	11	基本文型と短文 9	~지 않아요, ~지 마세요			
	12	基本文型と短文 10	~보다, ~는데			
	13	基本文型と短文 11	~(으)러 가다, ~ㄹ/을 거예요, ~(으)ㄹ까요?			
	14	基本文型と短文 12	~아/어도 되다, ~(으)면 되다			
	15	基本文型と短文 13	~을/를 좋아하다, ~을/를 싫어하다			
	16	基本文型と短文 14	~아/어 주세요, ~(으)려고 해요			
	17	基本文型と短文 15	~는, ~(으)ㄴ, ~(으)ㄴ 적이 있다			

	18	基本文型と短文 16	~기 전에, ~(으)ㄴ 후에, ~잖아요
	19	基本文型と短文 17	~아/어서, ~(으)니까, ~기 때문에
	20	基本文型と短文 18	~는/(으)ㄴ/(으)ㄹ 것 같아요
	21	基本文型と短文 19	~(으)ㄹ 때, ~(으)ㄹ 수 있어요/없어요
	22	基本文型と短文 20	~는/(으)ㄴ 편이에요, ~아/어 있다
	23	基本文型と短文 21	~았/었으면 좋겠어요, ~아/어지다, ~아/어 보다
	24	基本文型と短文 22	~아/어야 돼요, ~기 쉽다, ~기 어렵다
	25	基本文型と短文 23 間接話法	~ㄴ/는다고 하다, ~다고 하다, ~(이)라고 하다
	26	基本文型と短文 24 間接話法	~자고 하다, ~(으)라고 하다, ~냐고 하다
	27	TOPIK II 書き取り問題	51 番、52 番
	28	TOPIK II 書き取り問題	53 番
	29	TOPIK II 書き取り問題	53 番
	30	まとめ	

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	韓国語文法・語彙Ⅰ 〔KC〕		担当教員	伊藤 舞香		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態			授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	韓国語習得の全ての基礎となる語彙、文法を学習する。					
到達目標	ハングルがすらすら読めること、全ての文字が書けること、初級文法を使いこなせること、この三つの条件をクラス全員がクリアすること。					
テキスト・参考図書等	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』 国書刊行会出版					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準			
	試験	50	授業への参加態度、小テスト及び課題など（40%）、期末試験（50%）をもって評価します。			
	レポート					
	小テスト	30				
	提出物	10				
	その他	10				
履修上の留意事項	・語彙及び表現確認については各自事前に学習しておくこと。 ・品詞（名詞、動詞、形容詞、助詞、副詞など）の文法用語について確認しておくこと。 ・テキストの学習予定の箇所を事前に読んで、新しい文法事項を確認すること。 ・授業中に学んだ文字と文法、発音を確認し、積極的に使用すること。					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション	シラバス、評価方法の説明			
	2	基礎①	韓国語についての基礎知識			
	3	基礎②	基本の母音			
	4	基礎③	基本の子音			
	5	基礎④	複合母音			
	6	基礎⑤	パッチム			
	7	基礎⑥	発音の変化			
	8	小テスト				
	9	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第1課 私は浅井ゆかりです			
	10	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第2課 出身はソウルですか			
	11	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第3課 図書館ではありません			
	12	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第4課 時間がありますか			
	13	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第5課 何をしますか			
	14	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第6課 貿易会社で働いています			

	15	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第7課 服を買いいます
	16	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第8課 スーパーでよく買います
	17	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第9課 2万5千ウォンです
	18	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第10課 今、何時ですか
	19	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第11課 日本語を話されますか
	20	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第12課 バスは行きません
	21	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第13課 いつ韓国に来ましたか
	22	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第14課 一緒にお昼を食べましょう
	23	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第15課 パーティーの準備をしています
	24	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第16課 何も食べられませんでした
	25	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第17課 陶磁器が見たいです
	26	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第18課 写真を撮ってもいいですか
	27	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第19課 帰国しなければいけません
	28	文法・語彙	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第20課 手紙を書きますよ
	29	まとめ	
	30	まとめ	

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

授業科目	韓国語コミュニケーションⅠ〔KC〕		担当教員	申 相勲	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数
授業目的	基本的な文法・語彙を学び、日常生活で用いられる簡単な韓国語表現を理解し、実際のコミュニケーションに活用できる基礎能力を身につける。				
到達目標	あいさつ、自己紹介、買い物、食事、道案内などの基本的な場面を想定した会話練習を通して、韓国語で簡単な意思疎通ができる。				
テキスト・参考図書等	『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』 国書刊行会出版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験		授業内活動 50%		
	レポート				
	小テスト	30			
	提出物				
	その他	70			
履修上の留意事項	毎回復習小テストがあります。次回の授業に向けて復習をしっかりと行ってください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	挨拶 1		
	2	Chapter1	挨拶 2		
	3	Chapter2 基本文	「～です / ～ではありません」 自己紹介①		
	4	Chapter3 基本文	名前・国籍・職業を言う。		
	5	Chapter4 基本文	疑問文（～ですか？）		
	6	Chapter5 基本文	指示詞（これ / それ / あれ）		
	7	Chapter6 基本文	ある・ない		
	8	Chapter7 基本文	位置・場所		
	9	Chapter8 基本文	自己紹介②		
	10	Chapter9 日常会話	数字（固有数詞・漢数詞）		
	11	Chapter10 日常会話	年齢・電話番号・時間・曜日		
	12	Chapter11 日常会話	買い物		
	13	Chapter12 日常会話	交通手段		
	14	Chapter13 日常会話	週末		
	15	中間まとめ			
	16	Chapter14 日常会話	約束①		
	17	Chapter15 日常会話	約束②		
	18	Chapter16 日常会話	食べ物と注文①		

	19	Chapter17 日常会話	食べ物と注文②
	20	Chapter18 日常会話	過去の出来事
	21	Chapter19 日常会話	趣味①
	22	Chapter20 日常会話	趣味②
	23	Chapter21 日常会話	韓国の食べ物
	24	Chapter22 日常会話	天気と季節
	25	Chapter23 日常会話	からだ
	26	Chapter24 日常会話	旅行①
	27	Chapter25 日常会話	旅行②
	28	Chapter26 日常会話	文化①
	29	Chapter27 日常会話	文化②
	30	まとめ	

[illegible]

担当 教員 実務 経験		
----------------------	--	--

